

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和6年度】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 154-0011  
所在地 東京都世田谷区上馬2丁目25-4  
フレックス三軒茶屋2階

評価機関名 株式会社ミライ・シア

認証評価機関番号 機構 16 - 237  
電話番号 03-6805-4127  
代表者氏名 岡村 和彦

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	箕田 茂	経営	H0303015
	②	山本 由紀子	福祉	H1401007
	③	岡村 和彦	経営	H1301020
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認定こども園			
評価対象事業所名称	認定こども園こっこる			
事業所連絡先	〒	141-0031		
	所在地	東京都品川区西五反田3丁目1番3号		
	TEL	03-5740-6971		
事業所代表者氏名	園長 高橋 由季様			
契約日	2024 年 7 月 17 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2024 年 8 月 30 日			
利用者調査結果報告日	2024 年 10 月 23 日			
自己評価の調査票配付日	2024 年 8 月 30 日			
自己評価結果報告日	2024 年 10 月 23 日			
訪問調査日	2024 年 10 月 30 日			
評価合議日	2024 年 10 月 30 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査はアンケート方式で行いました。アンケートは事業所の協力の下、案内用紙を保護者へ配布して頂き、WEBで回答して頂きました。なお匿名性を確保するために、無記名としています。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

高橋 由季

印

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)社員を喜ばし お客様を喜ばす 2)お客様第一主義 3)環境整備の徹底 4)クレーム最優先 5)人を喜ばす</p>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>指導を行い、子どもの自信に繋げる。担当クラス以外にも積極的に入り、こっこるの職員全員で子ども達の成長に関わっていく。職員間で困っていることを助け合える関係。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>私たちの仕事は未来を背負う子ども達の命＝人生を預かる尊い仕事であるということに誇りと喜びをもって日々の仕事にあたること。 自分たちの職場は自分たちがよくするのだという意識でお互いに助け合うこと。人を喜ばすことが社風・園風になる。</p>

調査対象

利用者家族45世帯を調査対象にアンケートを実施し、結果28世帯から回答が得られました。

調査方法

利用者調査はアンケート方式で行いました。アンケートは事業所の協力の下、案内用紙を保護者へ配布して頂き、WEBで回答して頂きました。なお匿名性を確保するために、無記名としています。

利用者総数	53
利用者家族総数(世帯)	45
共通評価項目による調査対象者数	45
共通評価項目による調査の有効回答者数	28
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	62.2

**利用者調査全体のコメント**

利用者家族45世帯に対し、有効回答28件で62.2%の回答率となりました。総合的な評価では、「大変満足」が23名(82.1%)、「満足」が5名(17.9%)という結果になっています。事業所に対する総合的なコメントを見ると、「いつもの先生も子どもの名前を呼び、笑顔で接して下さるので、子どもも楽しそうに通園できています。本当にありがとうございます」「大変信頼できる良い園だと思います。保育内容に加え、ベテランの先生も多く、安心感があります。基本的な内容に不満はありませんが、純日本教育な印象のため、英語も加えてもらえるとなお嬉しいです」「先生方が情報連携してくださっているお陰で、子供を安心して預ける事が出来ています。いつも本当にありがとうございます！」等の回答がありました。

**利用者調査結果**

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 運動や休息の配分は、子どもの発達の状態や在園時間に依じて工夫されているか	27	1	0	0
回答割合は、「はい」が96.4%、「どちらともいえない」が3.6%という結果になっています。自由意見は「体操が本当にありがたいです。心身の成長が著しく、嬉しいです」「こっこる任せにしてしまってる自分を恥ずべきと思うくらい、お任せしてしまってますし、子供達の著しい成長を日々実感しております」「体操や基本的な生活習慣を教えていただけて大変ありがたいです」等の回答がありました。				
2. 園での活動は、子どもの教育や心身の発達に役立っているか	28	0	0	0
回答割合は、「はい」が100.0%という結果になっています。自由意見は「こっこるでの活動の中でも体操は特に素晴らしいと思っており、子供達も興味が出るよう一生懸命やって頂いてると思います。素晴らしいと思います」「体操やひらがな、カード等、かなり興味を持っているようです」との回答がありました。				
3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	28	0	0	0
回答割合は、「はい」が100.0%という結果になっています。自由意見は「こっこるでの活動の中でも体操は特に素晴らしいと思っており、子供達も興味が出るよう一生懸命やって頂いてると思います。素晴らしいと思います」「体操やひらがな、カード等、かなり興味を持っているようです」等の回答がありました。				

4. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	27	1	0	0
回答割合は、「はい」が96. 4%、「どちらともいえない」が3. 6%という結果になっています。自由意見は「食育もありがたいです」等の回答がありました。				
5. 園の生活の中で、身近な自然や社会と十分関わっているか	21	7	0	0
回答割合は、「はい」が75. 0%、「どちらともいえない」が25. 0%という結果になっています。自由意見は「戸外遊びは多くないのかなあという印象はあるものの、発表会等、職員の皆様が独創性を持って一生懸命やってくださってるのを十分理解しているので、十分満足しております」「自然と関わることは立地上、少なくとも致し方ないかなと思います」「もう少し外遊びの機会が増えるといいなと思います」等の回答がありました。				
6. 保育時間の変更が急ぎよ必要になった場合、開園時間内において、園の可能な限り、柔軟に対応されていると思うか	28	0	0	0
回答割合は、「はい」が100. 0%という結果になっています。自由意見は「とても柔軟で感じ良く対応いただけてありがたいです」との回答がありました。				
7. 安全対策が十分取られていると思うか	25	2	0	1
回答割合は、「はい」が89. 3%、「どちらともいえない」が7. 1%、「無回答・非該当」が3. 6%という結果になっています。自由意見は「ここだけ不安点があり、移転後目の前の道路が車やバイク、自転車の往来、人の行き来も大変多いため、区か都かわからないのですが、行政と連携して、もっと注意を促せるような対策をしていただきたいと思います」「園前の道路は車と一般の歩行者が多く危険で、できるだけ抱っこして通行していますが、これから体重がさらに増えたり雨の日は困難に感じます」との回答がありました。				
8. 園の活動に保護者が参加しやすいよう、工夫されているか	22	5	1	0
回答割合は、「はい」が78. 6%、「どちらともいえない」が17. 9%、「いいえ」が3. 6%という結果になっています。自由意見は「早い段階でお知らせもただけて助かります」「仕方ない部分もありますが、年間行事で土曜開催とお知らせされていた行事が急遽平日に変更になることがあり、調整が少し大変です。でも十分配慮してくださってることも感じています」等の回答がありました。				
9. 子どもの教育・保育について家庭と園に信頼関係があるか	26	2	0	0
回答割合は、「はい」が92. 9%、「どちらともいえない」が7. 1%という結果になっています。自由意見は「はい、とても親身に相談に乗って頂いており、職員の皆様には改めて感謝申し上げます」「クラス関係なく先生が気遣ってくださるのが嬉しいです」との回答がありました。				
10. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	28	0	0	0
回答割合は、「はい」が100. 0%という結果になっています。自由意見は「十分清潔であると思います」との回答がありました。				

11. 職員の接遇・態度は適切か	28	0	0	0
回答割合は、「はい」が100.0%という結果になっています。自由意見は「一切の不満はありません。むしろ素晴らしいと思います」「丁寧にいつも対応頂いています。服装もいつもきちんとしていらっしゃるって、いつも子供達のお手本になってられると感じます」との回答がありました。				
12. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	28	0	0	0
回答割合は、「はい」が100.0%という結果になっています。自由意見は「そんなにしなくてもいいのかなと思えるくらいやって頂いてます」「細かく状況をお伝えいただいて、必要なことを伝えていただいていると思っています」「先生方が情報共有して体調不良以外に細かな怪我のときも気にかけて都度連絡いただいています」との回答がありました。				
13. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	23	2	0	3
回答割合は、「はい」が82.1%、「どちらともいえない」が7.1%、「無回答・非該当」が10.7%という結果になっています。自由意見は「私たちには知り得ない事も多々あると思いますが、職員の皆様を信頼しております」「まだ、通い始めてそういうことは聞いていないのでわかりませんが、他の対応を見てもしっかり対応していただいていると思っています」等の回答がありました。				
14. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	26	2	0	0
回答割合は、「はい」が92.9%、「どちらともいえない」が7.1%という結果になっています。自由意見は「子供が担任の先生が一番好きと言っていて信頼している様子が伝わってきます」「忙しい中でも先生たちが子供の目線に立って、話を聞いて下さっている事が嬉しいです。体操などで褒めていただくなど、温かいお声掛けが子供の自信と成長に繋がっていると実感しています」等の回答がありました。				
15. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	25	2	0	1
回答割合は、「はい」が89.3%、「どちらともいえない」が7.1%、「無回答・非該当」が3.6%という結果になっています。自由意見は特にありませんでした。				
16. 教育・保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	26	2	0	0
回答割合は、「はい」が92.9%、「どちらともいえない」が7.1%という結果になっています。自由意見は「個別面談をしていただき、保育計画など教えていただく機会があるといいのになと思います。子どもの課題や家庭内でも気をつけた方がいいことなど、集団保育で見える気づきを教えていただきたいです」「夕方になると、0歳から2歳の子供達が合同で1歳児クラスに集まっている様ですが、スペース的に少し狭くないかな?と思っています」との回答がありました。				
17. 利用者の不満や要望は対応されているか	28	0	0	0
回答割合は、「はい」が100.0%という結果になっています。自由意見は「要望を伝えた時は明確にこちらが何をやったら良いか分かりやすく説明してくれます」「質問にも丁寧に迅速に回答いただいています」「以前園内で実施されたアンケートに記入した要望に対し、誠実に対応いただきました」との回答がありました。				

18. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	13	8	2	5
<p>回答割合は、「はい」が46.4%、「どちらともいえない」が28.6%、「いいえ」が7.1%、「無回答・非該当」が17.9%という結果になっています。自由意見は「こっころに対して困った事はないので、相談する事はないですし、仮にそういうことがあれば自分で調べるので問題はないかと思います」との回答がありました。</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	カテゴリ1の講評	
	園が目指す目標などを明示して周知しています 園が目指す【保育目標】①子どもの可能性を引き出し伸ばし育てる②人間としての基本を身につける③転んだら自分で起き上がる、等を「しおり」に明示しています。【保育目標】は、園が所属する法人の経営方針を分かり易く記載した「経営計画書」や、職員が携帯している手帳(フィロソフィー)にも記載し、昼礼等で読み合わせを行なうと共に、法人運営会社が毎年行なう経営発表会の映像を視聴する等して内容を確認しています。保護者に対しては、入園時の面談や保護者交流会で園長・主任が「しおり」を基に説明して理解を求めています。	
	「職務分担表」を作成し、職員と共有する事が望まれます 「発展計画書」に、園長の保育に懸る思いや「こっこるの基本方針」(最重要項目①:安全120%) (最重要項目②:初心(共通認識・関わり))等について明記しています。ただ、「園長」「主任」を含む各職種に関する「役割」「職務内容」等を明記した「職務分担表」の様なものがないと確認出来ませんでした。早期に作成され、職員とも共有される事が望まれます。園長は保育現場で子どもの様子や職員の表情などをチェックすると共に、個々の職員から日々の業務報告を受け、必要に応じてアドバイスをを行う等して現場をリードしています。	
	必要な案件について意思決定し、その内容を関係者に周知しています 人事、予算、事業計画などの重要な案件に関しては、「諸々の会議で把握した課題を基に園長が取り纏め」→「本部で決済」という手順で決めています。決定した案件は、全職員が毎日必ず確認する「伝達ファイル」に入力し、全ての職員に周知しています。重要な案件を保護者にも伝える必要がある場合には、園内掲示や「連絡帳アプリ」内の「おたより機能」で伝えていきます。今年度に保護者に伝えた案件としては、「連絡帳アプリ」の活用を手紙で伝え、試用期間を設けて勧めたところ、現在は全ての保護者が「連絡帳アプリ」を使用しています。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
2 カテゴリー2の講評		
<p>園を取り巻く環境について情報を把握して、課題を抽出しています</p> <p>行事の後や、年2回の保護者会の前に取り上げて欲しいテーマを確認するための保護者アンケートを取ると共に、日々の送迎時に保護者の意見を収集・把握しています。職員の意見は、半年に1回全ての職員と行う個別面談や、日常的な保育業務の中で会話しながら把握しています。地域の福祉ニーズは、月に1回開催される区の園長会に園長が参加し、他園の園長等と情報交換もしながら収集しています。収集・把握したこれらの情報を検討して、園の課題を抽出しています。現在把握している課題は「新入職者」と「先輩職員」との経験ギャップ埋めです。</p> <p>「中・長期計画」の見直しが望まれます</p> <p>「中期計画」(2024年～2027年)、「長期計画」(2024年～2029年)を策定し、「保育内容」「職員養成・構成」等に関する「計画内容」を述べています。ただ、この計画にはその年度毎に行う具体的な内容が記述されていませんでした。「認定こども園」として新たなスタートを切った状況でもあり、年度毎に為すべき諸項目を明記し、5年後のあるべき園の姿を明示する「中・長期計画」を策定し、職員や保護者にも開示して共有する事が望まれます。</p> <p>園の運営方針等を明記した「事業計画書」の策定が望まれます</p> <p>年度毎に「発展計画書」を策定し、職員に開示しています。「発展計画書」では、「前年度を振り返った結果の、今年度の基本方針」「各クラスの重点事項」など、職員がどの様な姿勢・考えで日常の保育に向かうのかをとて丁寧の説明しています。ただ、「行事」「防災計画」「食事」「施設管理」等の園の運営に関する「事業計画書」が策定されていませんでした。また、「事業報告書」が策定されていますが、「発展計画書」に対する振り返り内容ではありませんでした。「事業計画書」の策定とそれに対応した「事業報告書」の策定が望まれます。</p>		

3 カテゴリー3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

### カテゴリー3の講評

#### 福祉サービス事業者として守るべき倫理などを周知しています

職員が守るべき法・規範・倫理に関しては、全ての職員に対して入職時に取り交わす「誓約書」に、「個人情報の扱い」「他人を誹謗中傷しない事」「他人を侮辱しない事」「無用の発信はしない事」等について述べて周知しています。更に全職員が「コンプライアンス研修」を年2回受講する事で、規範・倫理等の重要性を再確認しています。日常的には、園長が必要に応じて現場に入り、子どもに対する職員の接し方が「規範・倫理」に沿って行われているかどうかを確認し、気になる事があれば個別に指導すると共に、職員会議等で注意しています。

#### 保護者・子どもの権利擁護のための取り組みを行っています

園の苦情解決制度を利用できる事を「重要事項説明書」に明記し、保護者には「重要事項説明書」を基に入園時に説明しています。保護者の意向は「アンケート」「連絡帳」「送迎時の会話等で得た職員の報告」等を基に園長・主任が把握しています。把握した意向は、職員会議等で協議して解決しています。職員の言動が子どもの気持を傷付けない様に、定期的に自己評価表で振り返ると共に昼礼で職員同士の言動について確認し合っています。朝の受入れ時や午睡時に子どもの身体的・精神的状態を確認し、気になる事があれば園長が保護者と話し合っています。

#### 地域の福祉に役立つ取り組みを行っています

園の透明性を高めるために、福祉サービス第三者評価を毎年受審して、結果を都のHPに公表しています。園長は区の連絡会等に参加し、他園の園長と交流しながら地域情報を把握しています。地域の専門学生を対象に職員実習を行う事を近隣の学校に働き掛けており、今年度1名を受け入れました。園の行事に参加する様に近隣住民に声掛けを始めました。また、地域の子育てに悩む母親を対象とした「子育て相談」などに応じる事も考えており、実現が期待されます。

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
<p>園が目指す事の実現を阻害する恐れのあるリスクの優先順位付けが課題となっています</p> <p>子どもへの安定的な保育体制を確保する為に、「道路への飛び出し」「大雨による水害」「火災」「感染症」「不審者」を優先課題として様々な取り組みを行っています。「道路への飛び出し」に関しては、玄関前にパーティションを置きました。「水害」に関しては、玄関の防水対応を行いました。ただ、これらの事柄を優先課題としていますが、それ以外のリスクに対する優先順位付けが行われていません。園の経営を阻害する恐れのある様々なリスクを洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについての優先順位を付けて職員にも周知することが望まれます。</p> <p>災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定中です</p> <p>災害対策の一環として、対応マニュアルを作成すると共に、地震や火災を想定した避難訓練を毎月実施しています。子どもの安全を確保するために、上級救命講習を毎年1回全員が受講すると共に、ヒヤリハットの内容を昼礼で共有する等して事故防止に努めています。災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備えるための、事業継続計画(BCP)を策定中との事です。事業を停止させる程の緊急な事態に遭遇した場合に備えて、事業を継続あるいは早期復旧を可能にするための(BCP)を完成させ、職員とも共有する事が期待されます。</p> <p>園が保有する情報を適切に管理しています</p> <p>園が保有する「利用者情報」「経営情報」「職員情報」などの情報を適切に管理するために、「特定個人情報保護規定」を定めています。これらの情報は、紙ベースでは、事務室の鍵付き書庫で保管しており、鍵は責任者が管理しています。電子データベースでは、個人のPCの使用は禁止し、園保有のPCのみで業務を行っています。職員が保育時に必要とする「利用者情報」等の情報に関しては、職位毎に段階的に閲覧制限を設定しています。「特定個人情報保護規定」で「利用目的の明示」「開示請求への対応」を明記して保護者に周知しています。</p>		

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 11/12
<b>評価項目1</b> 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している <span style="float: right;">評点(〇●)</span>		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目3</b> 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目4</b> 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
<b>評価項目1</b> 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

#### カテゴリー5の講評

##### 職員の採用は園主体で行っています

園が必要とする人材に関しては園で募集・採用しており、入職者の母校の保育士養成校を訪問して、園の特徴や福利厚生等をPRしています。採用の際には、園に対する興味がある事、毎向きな事等を重視し、資格保持を条件に採用する様に努めています。入職した職員は、園での先輩職員に指導を受けながら、外部研修等で保育の様々な実務を学んでいます。職員の異動に関しては、年度末の担当クラスの異動や、法人内の他園への転任(年度内もあり)がありますが、その際には、事前の個別面談で確認し、本人の意向を反映させています。

##### 研修を通して職員の育成に力を入れています

詳細な「キャリアアップ要件」を作成して職員に開示しています。また、内外の研修案内を園内に掲示する等して職員に積極的に受講を勧めています。受講者には受講料を補助し、交通費は支給、出勤扱いとしています。職員アンケートでも、この項目で多くの職員が満足している事が分かります。更に、園長が個々の職員の意向や経験に基づく「個別目標」と「研修計画」「育成計画」等を作成し、個人面談で、期待する事や注意点、参加すべき研修内容等を口頭で説明しています。

##### 職員の意欲向上の取り組みが職員の働き甲斐に繋がっています

各職員が、年間を通して月毎に希望する有休を提出する等して、職員全員が有給休暇を100%希望通りに取得できる様に配慮しています。園長が全ての職員と都度必要な面談を行い、意見や悩み等を聞き取っています。職員会議や屋礼の場等で個々の職員の長所を述べ合い感謝するなど、職員相互が認め合う機会も設けています。職員アンケートでも「職員チームワークが良い」「子どもの成長を一番に考えている」「園全体で子ども達の成長を共有している」「経験年数が豊富な人が多い」「希望する休みが取れる」等のコメントがありました。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

[目標の設定と取り組み]

「認定こども園」としての初年度であり、新入職員も複数名いる事から皆が「初心」に戻る事の必要性を感じ、「相手の立場に立って考え、伝える」事を目標としました。

具体的な取り組みとして、①職員に対しては、断定的な言葉は控える事とし、『「～だろう」ではなく「～じゃないかもしれない』の考え方を伝える様に努めました ②園舎が従来の1Fタイプから4Fタイプに変わった事もあり、フロアの状況を出来るだけ把握する様に努めました。

[取り組みの検証]

新たになすべき事が増えたこともあり、気持ちの面で余裕を持つ事が難しく、達成度は低かったと思います。

振り返って分かった事としては、①初心(基本)は全ての土台になる重要な部分である事 ②与えられている状況(環境)の中で、気持ちの部分の余裕や、相手を持って言葉を選びながら関わって行く事の大切さを、改めて感じました。

[検証結果の反映]

園のチーム力のアップに繋がられる様に、「相手の思いを受け止め・考える事」を令和6年度の重要項目に反映させました。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園の母体は2005年に「認証保育所」として開園し、それを継続してきた約20年後に「認定こども園」という大きな仕組みに取り組むという、厳しい初年度でした。また、年度初めに6名の新規入職者があり、現有する職員とのギャップを埋める事も大きな課題となりました。それらを鑑みて「初心に戻って、相手の立場に立って考え、伝える事」を目標にされました。普通は、大きな仕組みとなった園の園長になれば、「上から目線」に変わっても止むを得ないと思いますが、高橋園長はそうせず、「相手の立場に立って考えられる様に」目標を定めた事には、とても感心させられました。園長の考えは多くの職員や保護者にも伝わって行く事と思います。今後が大いに期待されます。

**評価項目2**

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

**前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)**

**〔目標の設定と取り組み〕**

新規入職者が複数名となった事で、現職の職員も含めた「保育方針の共通理解」が課題となる為に、「経営計画書」や「発展計画書」の読み合わせやディスカッションの機会を設ける事を目標に定めました。  
具体的な取り組みとして、「昼礼」や、土曜に2～3時間全員で集まる「施設会議」などの場で、計画書の読み合わせやディスカッションを行いました。

**〔取り組みの検証〕**

必ずしも満足度の高い結果ではありませんでしたが、体制が厳しい状況の中でも「読み合わせ」や「ディスカッション」が出来たのは良かったと思ひ、目標は達成されたと感じています。  
振り返って分かった事としては、「計画書の読み合わせ」や「ディスカッション」の機会は、園として進むべき方向性や考え方を自ら再確認出来ると共に、職員と同じ思いを持つために必要である事が理解出来ました。

**〔検証結果の反映〕**

経験者や若手を問わず、保育の目的や思いが園のチーム力に繋がる様に、令和6年度の重要項目に反映させました。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

**評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評**

項目1に述べた様に、「認定こども園」としての新しい年度であり、新入職員が複数増えた事や、園舎が従来の1Fタイプから4Fタイプに変わった事等様々な環境変化のある厳しい初年度となりました。その様な状況下ではありますが、職員とも思いを共有する事で難関を乗り切れた事は素晴らしい事だと思います。職員と共に、更なる良い園を目指される事を期待します。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学希望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>入園希望者にホームページやリーフレット等で情報を提供しています</p> <p>入園を希望する保護者にはホームページ、リーフレット、未就園児教室のチラシ等で園の情報を提供しています。ホームページは保育理念、教育・保育方針、定員、1日の過ごし方の他、園内を写真で紹介しています。リーフレットは保育理念や保育目標、定員、1日の流れ、平面図の他、最寄り駅から園までの地図や、説明会開催概要として問い合わせの電話番号を掲載しています。毎月実施している未就園児教室のチラシは園の玄関外に掲示しています。リーフレットや未就園児教室のチラシは児童館や図書館などにも配布することを予定しています。</p> <p>区には定期的に情報提供し、地域とも関係性を深め情報交換に努めています</p> <p>職員の入退職状況、子どもの受け入れ可能人数等の最新情報を毎月区に提供し、区のホームページ等で園の基本情報や受け入れ状況等が確認できるようになっています。区が発行する「保育園のご案内」には、認定子ども園としての概要が掲載されています。認証保育園から認定こども園として場所も変わり2年が経過し、地域の療育機関や公共施設との関係性も深まり、園情報を提供したり、イベント等の誘いを受けています。園玄関前の一方通行の道路は頻繁に車が通るため、町会が区に働きかけ子どもの施設がある掲示を車から見えるように設置してくれました。</p> <p>見学は個別に応じ、子どもの活動を見てもらい、力を入れている取り組みを伝えています</p> <p>見学の問い合わせには原則平日の10時30分から受け入れています。見学希望者の日時と在園児の活動に特に支障がない日を調整し、今年度は100組近い見学者が訪れています。見学は主任もしくは5年以上経験がある職員が担当し、体操や毎月の歌など子どもが活動している様子を見てもらいます。見学者には「生きる力」を育む保育理念と、しつけ・道徳、体操、学習などの毎日の活動から、素直な心や諦めない気持ち、礼儀など、人としての基本を身につけ、子どもの可能性を引き出し伸ばす取り組みや、日本文化を大切にしていることを伝えています。</p>		

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		<b>評点(〇〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		<b>評点(〇〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの指導・援助に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリー2の講評</b>			
<p><b>入園前の面接で重要事項の説明を行い、子どもや保護者の意向を確認し記録しています</b></p> <p>入園内定後、保護者に入園手続きに必要な書類を送付し、面談時に持参してもらいます。面談は園長、主任、担任予定の職員が担当します。「こっこのしおり」、重要事項説明書を読み合わせ、園の基本的ルールの理解を図り、それぞれの同意書に署名を得ます。さらに契約書を交わしています。持参してもらった児童票等の書類を基に子どもや保護者の意向を詳細に聞き取り、園が定めた「新入所児面談シート」等に記録しています。記録された情報は個別ファイルに保管しています。子どもや家庭の情報は職員間で共有し、個々の子どもの保育に活かしています。</p> <p><b>慣らし保育を実施し、利用開始直後の子どもや保護者の不安やストレスに配慮しています</b></p> <p>利用開始した子どもや保護者の不安やストレスを軽減するため、慣らし保育を実施しています。入園前の面談で慣らし保育の目安を1週間とし、初日は2時間から始め、食事まで、午睡までと時間を延ばしていることを伝え、保護者の意向を確認します。慣らし保育期間ではできるだけ同じ職員が対応し子どもや保護者との関係を作り、職員間での情報共有を徹底して子どもが安心して過ごせるようにしています。登降園時に子どもの日中の様子、楽しめたこと、泣いてしまったこと等の詳細を保護者に伝え、家庭での様子を聞きとり園生活に慣れるよう配慮しています。</p> <p><b>サービスを終了する子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮しています</b></p> <p>卒園や転園などでサービスを終了する子どもや保護者には園として可能な限り不安の軽減と支援の継続性に配慮しています。保護者からの相談には快く応じています。退園には保護者や関係者とよく話し合い、退園する子どもだけではなく、在園の子どもたちへの配慮も検討します。卒園する子どもにはカリキュラムでの学習や、小学校見学、公開授業等に参加し、就学することへの期待が持てるようにしています。卒園児には夏まつりや運動会などの園行事に招待状を送り、夏休みや冬休みには小学生ボランティアとして保育士体験をしてもらう機会を設けています。</p>			

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

全体的な計画(教育課程を含む)や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画(教育課程を含む)を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、指導の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

評点(00)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な指導・援助内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、指導・援助を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、指導事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評

全体的な計画を基に年間計画、月・週案を作成し、保護者にも分かりやすく伝えています

年度末に保育理念・方針・目標に基づき、養護と教育、各領域を意識した全体的な計画を主任が作成します。各クラス担任が全体的な計画を基に養護と教育の各領域、長時間保育、配慮児、家庭連携・地域連携、行事の項目を4期に分けて立て、年間指導計画を基に月案、週・日案を作成しています。各計画は園長、主任が確認します。乳児と配慮児は個人記録を基に、個別の指導計画を月毎に作成しています。目標や姿を記録し、保護者や療育機関と連携しています。指導計画は年2回実施する保護者交流会や毎月のクラスだよりで保護者に知らせています。

園が定めた統一様式で子どもの情報を適切に記録し、把握できるようにしています

入園までに基本情報を記載する「児童票」、食事状況を把握する「食物確認表」の他、「送迎者登録書」等、園が定めた統一書類を送付し、保護者から情報を得るようにしています。乳児は家庭と園で食事、睡眠、排泄等の詳細を連絡帳アプリに入力し、生活リズムに配慮しています。体調変化時は基本情報の中の緊急連絡先に知らせ、すぐに対応できるようにしています。「保育日誌」はその日のねらい、読んだ本、歌った歌、子どもの動き、保育士の関わりと反省評価の他、午睡時の呼吸をチェックする項目を設け、1日の保育内容を把握できるようにしています。

昼礼や各種会議、これら記録類で情報共有を図っています

毎日行う昼礼は園長、主任、各クラス職員、給食担当が集まり、子どもの欠席、けが・体調不良、ヒヤリハットを共有しています。昼礼の議事録は「昼礼ファイル」に入れ回覧できるようにしています。年数回行う職員会議は運営方針や行事、園内で改善すべきことを話し合っています。リーダー会議は必要に応じ行い、クラス課題や子どもの育成について検討しています。その他、各クラスの申し送りノートを作成しています。シフト勤務の職員は出勤時に「昼礼ファイル」、「保育日誌」、申し送りノート、連絡帳アプリ等の内容を確認してから保育を行います。

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した指導・援助を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の教育・保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した指導・援助を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>子どもの情報のやり取りについては保護者に説明し、同意を得て行っています</p> <p>ホームページのプライバシーポリシーで、利用目的、第三者への提供、共同利用、安全管理、開示についての情報を掲載しています。入園前に保護者に「こっこのしおり」や重要事項説明書で小学校や行政に必要事項の情報提供、転園の連絡調整、緊急時等における個人情報の扱いなどを説明し、それぞれの同意書で同意を得ています。個人情報の使用期間・目的・条件を記載した「個人情報の使用に関する同意書」、写真や文面で掲載することへの「掲載承諾書」、「園日より動画配信について」の同意書で保護者の同意を得て子どもの情報を取り扱っています。</p> <p>「こっこの発展計画書」で基本方針を示し、子どもを尊重した保育に取り組んでいます</p> <p>職員に園の基本方針を示す「こっこの発展計画書」では「無理」「後で」等の否定語は使わない、子どもを沢山褒める・認める、叱ってよい時は生命の危険がある時、人に迷惑をかけたときと明記しています。職員間でも働く仲間を尊敬し合い、「ありがとうカード」で感謝の気持ちを伝え合っています。職員は年2回の「コンプライアンステスト」で定期的に自己点検を行い、自分の保育を振り返る機会を設けています。子どもの人権に関する研修には全職員が参加し、日々の保育の中で子どもへの理解を深め尊重した関わりができるよう努めています。</p> <p>虐待防止や支援の必要な家庭への理解や援助は職員間で共通認識を図っています</p> <p>虐待防止に関するマニュアルは全職員に周知し、虐待が疑われるケースについては、関係機関との連携等の一連の対応を速やかに行うことができるようにしています。全職員で日々の子どもの状況を見守る姿勢を取り、変化や気になることの情報交換を密に行うことで、状況に応じた速やかな対応ができるようにしています。支援が必要な家庭については情報共有やケース会議を行い、全職員で保護者の理解や援助について共通認識を図っています。状況により児童相談所等の関係機関と連携する必要があるケースについては、職員間で確認し合います。</p>			

サブカテゴリ6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ6の講評			
<p><b>保育業務全般の手引きや子どもの安全に関するマニュアル等が整備されています</b></p> <p>業務に必要なマニュアルを各種整備し、職員がいつでも閲覧できるように事務室の棚に保管しています。特に「こっころマニュアル」では保育理念・保育内容、記録、電話対応、勤務等の職員の心得の他、地震・火災・水害・防災対策・不審者対応、救急手順等の子どもの安全、衣服の調整や運動会について等の実践をまとめ、保育業務全般の手引きとなっています。ひきつけ・けいれんや防災、散歩時緊急等に関してはチャート式にまとめ対応を分かりやすくしています。園独自の当番マニュアル等も作成し、基本事項や手順の確認ができるようにしています。</p> <p>指導計画は都度見直し安定した保育を実践していますが、マニュアル類は見直し予定です</p> <p>各クラスでは年間指導計画について4期毎に評価・反省を行い、子どもの実態に応じて見直しています。年度末には全職員で年間指導計画を振り返り、次年度の年間指導計画作成に反映できるようにしています。月間指導計画は各クラスで毎月評価・反省し、翌月の計画を立て、全体でも読み合わせて互いのクラスの保育内容を共通理解した上で保育を進めています。週案も全体で検討し安定した保育実践を行っています。業務を標準化するマニュアル類は定期的な点検ができていない部分があることを課題とし、今後、順次取り組む予定としています。</p> <p><b>研修で学んだことを園内で共有し、保護者の意見を反映させ、保育の充実を図っています</b></p> <p>研修に参加した職員は昼礼等で研修内容を報告し、職員間で共有できるようにしています。例えば保育環境について学んできた職員は、自園の環境を充実できる提案を行い、子どもの遊びや学習に活かすようにしています。系列園との交流や他園との研修では、自園の保育について客観的に検討し合う機会となっています。子どもが自発的、主体的に生活や遊びに取り組んでいるかを振り返り、子どもの生活導線や活動の流れを再確認し、保育内容の充実を図っています。保護者には行事後や登降園時に意見や要望を聞きとり、必要に応じ保育に反映しています。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36 / 36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた指導・援助を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで指導・援助している	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の教育・保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう指導・援助している	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつキ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、指導・援助している	<input type="radio"/> 非該当		
評価項目1の講評				
<p>子どもの全体的姿を把握し、環境を工夫して主体性や責任感を育てています</p> <p>個別の発達や興味関心を踏まえ、絵本、玩具等は子どもの手の届く場所に置き、自分の使う物の出し入れや片付けが自分で行える環境にしています。乳児は手指を動かす遊び、幼児はやり方を自分で考える遊びで主体性を育てています。年長児は全体朝礼や帰りの会で司会を行い、こうしたリーダー体験から責任感を育成しています。職員は個々の子どもの発達や特性を把握するため、指導計画や保育日誌で子どもの姿を把握し、発達記録で育ちを確認しています。気にかけてたい子どものケースはクラス会議や職員会議で理解を深め援助について確認し合っています。</p> <p>異年齢保育や、配慮児との関わりなどから、互いを認め合う心が育まれています</p> <p>全体朝礼や合同保育、かけっこや体操、誕生会や行事等で異年齢交流を取り入れています。年長児の「気を付け」の号令や「目を見てしっかり挨拶」する姿を年下の子どもが見て手本としています。行事前は歌や体操を見せ合うことで、年上の子どもは年下の子どもを応援し、年下の子どもは年上の子どもに憧れて頑張る気持ちを持つなど、異年齢の存在が成長の刺激となる保育を行っています。配慮児には出来ることや出来ないことなどを職員が把握し、クラス活動の中で、互いに助け合いながら共感や思いやりの気持ちを育ていけるように見守っています。</p> <p>「人として」互いを尊重する気持ちを育み、円滑に就学できるよう援助しています</p> <p>発達段階で生じる子ども同士のトラブルには、「人として」互いを尊重出来るように援助しています。トラブルが起きた原因を双方から聞き気持ちを代弁したり仲介し、相手の気持ちを理解できるよう対応しています。「生命の危険がある・人に迷惑をかける」時は叱ります。3歳から午睡をなくし、4歳5歳は時計の見方を覚え時間を守る習慣を身につけ、小学校の時間割のある生活に馴染めるようにしています。朝や帰りの集会で自分の考えを言葉で発表する機会を設けています。小学校には保育所児童保育要録を送付し、個々の子どもの申し送りを行っています。</p>				

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した教育・保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう指導・援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

登降園時は保護者と子どもの状況を伝え合い、生活の連続性に配慮しています

登園時は保護者に口頭で子どもの様子や健康状態を確認しています。2歳児までは家庭との生活リズムのつながりが特に大切な時期のため、連絡帳アプリに入力された睡眠や授乳、食事、排せつ等を丁寧に確認しています。幼児は連絡帳アプリを活用していますが、子ども自身が帰宅してから保育活動を話せる力をつけるようにしています。早番職員は、保護者から聞き取ったことを担任や日勤職員に申し送ります。日中の各クラスの子どもの様子や健康状態は、昼礼で共有し、遅番職員が各クラスからの申し送りを確認して保護者に日中の様子を伝えています。

基本的な生活習慣は、家庭と連携した援助で身に付けられようようにしています

基本的な生活習慣は、子どもの発達や意欲に応じて無理なく進めています。保護者には口頭や連絡帳アプリで様子を丁寧に伝え、連携して援助できるようにしています。1歳児でも排泄感覚をつかみ、トイレに関心を持つ様子を見せた時は計画的にトイレトレーニングをしています。園での様子を保護者に伝え、家庭と園が連携しスムーズに進めています。食事は手づかみ食べからスプーンを握って食べることができるようになり、箸の基本的な導入を行っています。箸を使った遊びを取り入れ、正しく箸を持てる経験を重ねられるようにしています。

子どもの状況に合わせて必要な休息がとれるように柔軟に対応しています

1歳児までは月齢やその子のリズムに応じた午睡時間を設け、子どもの体力・体調、保育状況に応じて柔軟に休息できるようにしています。2歳児から家庭での睡眠時間や保護者の要望などに応じて、睡眠時間を減らす等、個別に対応しています。3歳児からは早寝早起きの習慣が身につくよう午睡を無くしていますが、午前の活動内容や子どもの体調に応じた必要な休息を取らせています。眠らない子どもを無理に寝かせることはせず、自由遊びや「読み・書き・計算」の教材を使った学習など、好きなことをして時間を過ごせるようにしています。

3 評価項目3

日常の教育・保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう指導・援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

園独自のカリキュラムで子どもの「可能性」を最大限に引き出す取り組みをしています

「読み」「書き」「計算」「音楽」「体操」等の活動を通して子ども一人ひとりの可能性を引き出し、能力を最大限に発揮するためにやる気を引き出す教育プログラムを実践しています。一人ひとりの子どものペースで主体的に目標を持ち集中して取り組む力を育てています。毎朝のかけっこ、平均台や跳び箱等を活用しアスレチック遊びを取り入れて体力作りをしています。制作や読書など、落ち着いて遊び込める時間も設け、心のか・学ぶ力・体の力をつけさせ、子どもたちが生まれ持っている「可能性」を最大限に引き出す取り組みをしています。

子どもが人として自立し、社会的なマナーが身につく保育を実践しています

日々の挨拶や返事は「人間としての基本」とし、子どものうちに身に付くよう取り組んでいます。「相手より先に挨拶」「呼ばれたら大きな声で相手を見て『ハイ』と返事」することを、毎朝の集会で唱和しています。さらに「ありがとう、ごめんなさいを言える子」等を保育方針に挙げ、感謝や謝罪を相手に伝えることができるよう日々の生活を通して繰り返し伝えていきます。訪問調査の日に子どもたちが見学に来た評価者に体を向け大きな声で挨拶し、集会で唱和している姿、ピアノの音を聞き歌い出し全身を使って走り回る活動等を見ることができました。

集団活動や表現活動を楽しみ、発表で言葉の感覚を養い、戸外活動で自然体感しています

オフィス街の立地ですが、季節毎の花を見ることができる公園もあり、自然の様子を体感するために散歩する機会を多く設けています。虫を見つけて観察し図鑑で調べたり、拾った木の実や落ち葉等の自然物を使って表現活動を楽しんでいます。積極的に絵本の読み聞かせをしています。絵本を通して大切にしたい言葉を伝えるようにしています。毎日の帰りの会では子どもが1日の振り返りを発表する場を設け、自分の思いを言葉で表現しています。いす取りゲームやドッジボール等の集団遊びでは協力し合う楽しさや喜びを得られるようにしています。

4 評価項目4 日常の教育・保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
評価項目4の講評		
<p>伝統行事を重んじ、お泊り保育や遠足で自立心を育み、思い出作りをしています</p> <p>端午の節句・七夕・クリスマス・節分・ひな祭り等の伝統行事を楽しんでいます。行事の際は絵本、歌、クイズ等で子どもに興味や関心を持たせ、期待を持ち行事を待ちます。7月に年長児は家族から離れて外泊することで自信をつけ、自立心を育む「お泊り保育」を実施しています。自宅でシャワーを浴びてから登園し、お楽しみ会として近隣の商店で買ったスイカでスイカ割を楽しみ、カレー作りに挑戦し皆で食べます。記念制作として写真立てを作りました。公共の電車やバスに乗り、公園までピクニックに行きました。楽しい行事で思い出を作っています。</p> <p>運動発表会でやり遂げた感動や自信を実感し、協調性や友だちとのきずなを深めています</p> <p>運動発表会は子どもが日頃から活動している体操での成果を保護者の前で披露します。子どもたちは跳び箱や縄跳び、鉄棒等の中でどれをやりたいか、どのように見せるか話し合います。今年度は皆で目標を立て応援し合い全員ができるようになった逆上がりを見せることに決め、2分間で何回逆上がりができるかを披露することにしました。当日は個々の子どもが一生懸命逆上がりに挑戦し、保護者から大きな拍手を得て、目標に向かいやり遂げた時の感動や自信を得ています。子どもたちは協力することで協調性を身につけ友だちとのきずなを深めています。</p>		
5 評価項目5 在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 在園時間の異なる子ども同士が楽しく遊べるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 在園時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 在園時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>全職員で全園児を見る体制で、子ども自身が生活の流れを意識できるよう努めています</p> <p>在園時間が異なる子どもたちが好きな遊びに集中し、楽しむことができるよう職員体制に配慮しています。日常活動で異年齢保育を行い、異年齢の中で子ども同士が協力して遊べるようにしています。職員は異年齢での遊びを保障するため、全職員で全園児を見る体制を取れるよう情報共有をしています。子どもが主体的に生活や遊びを進められる環境や職員との関わりがあることで、在園時間が異なる子どもが時間で区切られることない生活の流れとなり、遊びから食事、休息の時間等の生活の流れを、子ども自身が意識して進めていけるよう努めています。</p> <p>在園時間の長い子どもが家庭的な環境で安心してくつろいで過ごせるよう配慮しています</p> <p>延長保育を利用している子どもはスポット利用を含め、現在1日あたり数名です。徐々に子どもの人数が減ることで残る子どもが寂しさを感じないよう、絵本の読み聞かせや、スキンシップを多めに取り、子どもとの関わりを深めています。預かり時間の長さや子どもの体力に応じて、ゴロゴロできる場所も作っています。希望者には補食や夕食を提供しています。18時頃から夕食・補助の提供をし、在園時間の長い子どもが家庭的な環境で安心してくつろいで過ごせるよう配慮しています。</p> <p>在園時間が長くなる中で、子どもたちが楽しく過ごすことができるようにしています</p> <p>年間指導計画では「長時間にわたる保育」の項目を設け、4期ごとに子どもの姿、環境構成等を挙げ、きめ細かい保育を実践しています。例えば1歳児の1期2期は「快適に園で生活できるよう環境設定を行う。保護者と連携を取りながら体調管理にも気を付ける」としています。17時以降に乳児と幼児はそれぞれ別の部屋に集まり、18時15分以降は乳児も幼児も一緒に部屋になります。日勤職員は遅番職員に延長保育を利用する子どもの様子の引継ぎを行い、その子どもが好きな塗り絵や玩具等、集中して遊べるものを用意し楽しく過ごせるようにしています。</p>		

6 評価項目6 子どもが食事を楽しめるよう配慮している		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園で提供する食事は、メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもがよく噛み味わえるよう食事に集中できる時間を設け、食事マナーも伝えています</p> <p>クラス毎に子どもの成長に合うテーブルや椅子を用意し、足を床につけて姿勢正しく食事できる環境を整えています。苦手な食材がある子どもは保護者と相談しながら無理強いせず、食べられる量にしています。年長児は全員が揃って、当番の号令で姿勢を正し「両親への感謝と、命の恵みを頂く」感謝の言葉を唱和してから食事を開始します。食事開始後の5分間は手を止めず、集中して食べる時間を設け、子どもがよく噛み食材を味わえるようにして、おかわりもできます。職員は同席し、食事の姿勢や食べ方、スプーン・箸の持ち方等のマナーを伝えています。</p> <p>子どもがおいしく楽しく食事ができるよう、メニューを工夫しています</p> <p>栄養士がメニューを作成し、食事は園内で調理し提供しています。栄養士は食事中に巡回したり残食調査をすることで、より食べやすく調理できるよう配慮しています。食材は添加物が含まれていない食品や旬の野菜を信頼できる業者から取り寄せ、栄養バランスや味付けを考えています。クラスに応じて食材の大きさやかたさに配慮し、出汁をきかせ薄味にすることで子どもが食材本来の味で食べることができるようになっています。七夕には星形の人参を入れたり、クリスマスはツリー型のパンケーキ、節分は鬼の形をしたおにぎり等、行事食を工夫しています。</p> <p>子どもの体調に応じた食事を提供し、クッキングなどの食育を実施しています</p> <p>各クラスの食育計画に沿って毎月クッキングや食材に触れる活動をしています。4歳5歳児はピザトーストや芋餅を作りました。幼児は三色栄養食品群について学習しています。2歳児から5歳児まで、そら豆やトウモロコシの皮むきをしました。野菜栽培等は次年度取り組む予定です。アレルギー児の対応において0歳1歳クラスは座る位置と椅子を個人ごとに用意し、2歳クラス以上は担任がアレルギー児の近くに座ります。食器を分け食事を覆うラップに名前を書き、園長と担当職員がダブルチェックし、確実にその子どもに配膳されるようにしています。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう指導・援助している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように指導・援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p>子ども自らがや病気を予防する取り組みと、園としても子どもの安全を図っています</p> <p>登園時や戸外活動から帰った時はうがいや手洗いを習慣化しています。職員が絵本や紙芝居を通して手洗いや歯磨きの大切さを教えています。実際に洗いや磨き方を指導し、感染症の予防や、虫歯の予防を伝えています。戸外活動では交通量の多い道路を通る時には声かけと見守りを徹底し、信号を守り交通ルールに関する約束を声に出して子どもと一緒に確認しています。保育室の隠れた危険箇所を伝え、子どもがあらゆる危険を回避出来るようにしています。毎月行う避難訓練は実施後、次の訓練時には前回の反省点を改善し、子どもの安全を図っています。</p> <p>保護者や医療機関と連携し子どもの健康を守っています</p> <p>嘔吐医による健診は0歳が毎月、1歳以上は年2回実施しています。検診日に体調や様子の気になる子どもがいればその場で助言を得て保護者にも伝え、子どもの健康を守るようにしています。歯科検診は全園児対象に年2回行っています。前日に38度以上の発熱があった場合は熱性けいれんなどを起こす場合もあるため解熱後24時間経過してから登園するよう保護者に伝えています。投薬は医師の処方薬のみ対応し、昼礼で全職員が共有します。登園時に保護者から「与薬依頼書」と薬を受け取り、投薬時に対応した職員は署名し、確実な服用を行っています。</p> <p>保護者に子どもの健康維持に向けた情報を提供し、予防にも力を入れています</p> <p>入園時に「こっころのおしり」の「病気・怪我・保健関係について」の項目で保護者に活動中のけがや発熱の対応を説明し、SIDSの予防のため仰向け寝を勧めています。乳児は毎日の検温と、午睡中に5分間隔の呼吸チェックでSIDSを予防しています。感染症が発生した時はその感染症の特徴や潜伏期間、ケアなど、保護者が見やすいよう玄関等に掲示し、一斉メールシステムで配信して注意喚起しています。毎月発行している保健だよりやクラスだよりで、季節毎の健康管理の仕方、生活リズムの大切さ等、子どもの健康維持に必要な情報を提供しています。</p>		

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、生活形態や子育ての考え方の違いなど、個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の教育・保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

保護者の状況や意向を汲み、必要な支援ができるよう配慮しています

開園時間は7時30分から19時30分、土曜保育を実施しています。保育園・幼稚園の機能に応じ、急な残業等での保育時間の変更や延長保育の利用、必要に応じた預かり保育に対応しています。延長保育では補食や夕食を提供しています。おむつは家庭からの持参、サブスク(手ぶら登園)の利用を選べるようにしています。保護者の抱えている悩みや不安には、家庭状況や保護者の思いを聞き、対応できるようにしています。日頃の保護者からの質問やちょっとした疑問等も見逃さず、必要に応じて話をする等、できるだけ不安を解消できるよう配慮しています。

保護者と職員の信頼関係が深まる取り組みをしています

毎月の園長だよりは園としての取り組みや保健関係のお知らせ、保護者へのお願いなどを載せています。毎月のクラスだよりはその月の目標や子どもの姿、家庭で取り入れて欲しい生活習慣等を伝え、子どもの活動写真を掲載しています。日々の連絡帳アプリや登降園時の会話で、子どもの発達や園の大切な取り組みを伝え、保護者と職員の信頼関係を構築できるようにしています。利用者調査の「職員との信頼関係」の項目では93%の保護者が「はい」と回答し、「親身に相談にのってくれる」「クラスに関係なく先生が気遣ってくれる」等の意見が見られました。

保護者同士の交流や、子どもの発達や育児について共通認識を持つ機会を設けています

保護者交流会を年2回クラス毎に実施し、年度当初の交流会では子どもの成長の見通しや職員の援助・関わりについて説明しています。年度末の交流会では子どもの一年間の育ちを伝え、子どもの発達や育児についての共通認識が持てるようにしています。交流会では保護者同士が話をする時間を設け、育児についての共感や情報交換、交流ができるよう配慮しています。保育参観を実施し、日常の子どもの様子を見たり保育に参加することで、保護者と共に子どもの成長した姿を共有する機会とし、運動発表会は親子競技を行う中で、保護者の交流があります。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

地域資源を活用し、子どもたちの体験や生活の幅が広げられるよう取り組んでいます

日々の散歩の際には地域住民と積極的に挨拶を交わし、顔馴染みの関係作りをしています。地域の公園や、ボルダリングやボール遊びが出来る近隣の運動施設の無料開放日を活用しています。運動発表会は公共施設を利用していますが、抽選のため日にちが年度初めに決められないため、来年度は近隣の高校の施設を借りることを計画しています。学習発表会は地域の音楽ホールを借りて開催しています。年長児はお泊り会でスイカ割やカレー作りをするため、地元のスーパー等で買い物体験をしています。公共の電車やバスを利用し外出することもあります。

職員以外の人と交流する機会を設け、つながりや親しみを感じ、社会性を育てています

今年の勤労感謝の日は、園の給食食材の配達業者や近隣の運動施設の職員あてに子ども達が感謝の気持ちを書いた手紙を渡しに行きました。近隣の運動施設が会場となる警察署・消防署の安全教室に参加し、警察署や消防署の人や地域参加者と交流しています。系列園との交流や、本部の幼児研究会から体操等の専門講師が来園しています。毎月、未就園児教室を開催し、読み聞かせやベビーダンス、ボール遊び、鉄棒、縄跳び等のテーマで地域の子育て家庭が来園し、遊んでいます。夏休みや冬休みには小学生ボランティアを募集し、子どもと一緒に遊んでいます。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-2-1	利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている
タイトル①	保護者・子どもの権利擁護のための取り組みを行っています	
内容①	保護者の意向は「アンケート」「連絡帳」「送迎時の会話等で得た職員からの報告」等を基に園長・主任が把握しています。把握した意向は、職員会議等で協議して解決しています。職員の言動が子どもの気持ちを傷つけないように、定期的に自己評価表で振り返ると共に、昼礼で職員同士の言動について確認し合っています。日常的には、園長が必要に応じて現場に入り、子どもに対する職員の接し方が「規範・倫理」に沿って行われているかどうかを確認し、気になる事があれば個別に指導すると共に、職員会議等で注意しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル②	職員の意欲向上の取り組みが職員の働き甲斐に繋がっています	
内容②	職員全員が有給休暇を100%希望通りに取得できる様に配慮しています。園長は、保育現場で子どもの様子や職員の表情などをチェックすると共に、全ての職員と必要な面談を都度行い、意見や悩み等を聞き取っています。職員会議や昼礼の場等で個々の職員の長所を述べ合い感謝するなど、職員相互が認め合う機会も設けています。職員アンケートでも「職員のチームワークが良い」「子どもの成長を一番に考えている」「園全体で子ども達の成長を共有している」「経験年数が豊富な人が多い」「希望する休みが取れる」等のコメントがありました。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-3	日常の教育・保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル③	独自の保育・教育プログラムを展開し、子どもに自立する力をつけています	
内容③	日々の挨拶や返事は「人間としての基本」とし、子どものうちに身に付くように取り組んでいます。「相手より先に挨拶」することを朝の会で唱和し、帰りの会では1日の振り返りを発表させ自分の思いを伝える力を養っています。「ありがとう、ごめんなさい」の感謝や謝罪を適切に言えるようにしています。独自のプログラムを展開し、子どもの意欲や可能性を引き出しています。日々、園内を走る、平均台や跳び箱等のアスレチック遊び、自然を体感する戸外活動で体力をつけています。積極的に絵本を読み聞かせ、制作や歌などを通して表現力を養っています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	独自のプログラムを組み立てた保育・教育を実践し、子どもの人間力を養い、可能性を引き出す取り組みをしています
	内容	「読み・書き・計算・音楽・体操」等の独自のプログラムを組み立てた活動を通して子ども一人ひとりの可能性を引き出し、能力を最大限に発揮できる取り組みをしています。プログラムを進める際は子ども自身が目標を決め、目標に向かって、挑戦し、達成する喜びを得られるよう導き、自信を育み、新たなレベルへの挑戦につなげています。年長児は運動発表会で日頃から取り組んでいた逆上がりを全員で披露しました。子ども同士が成果を認め合い、関係性を深めています。人間としての基本・善悪の区別を伝え、心の力、学ぶ力、体の力を養っています。
2	タイトル	「発展計画書」に年度の取り組むべき詳細を示し、最重要項目に職員全員が積極的に取り組み保育の質向上を図っています
	内容	毎年園長が作成する「発展計画書」にその年度に為すべき事柄の詳細が示され、今年度の基本方針の最重要項目は①安全120%②チーム力を挙げています。毎日行う昼礼は園長、主任、各クラス職員、給食担当が集まり、子どもの欠席、けが・体調不良の他、ヒヤリハットを共有し、子どもの安全を確認しています。働く仲間がお互いを認め、感謝の気持ちを伝え合いチーム力を高めています。年2回の「コンプライアンステスト」で、保育の仕事振り返る機会を設けています。職員の自己評価の自由意見では「チームワークが良い」との意見が多く見られました。
3	タイトル	幼保一体型の保育で保護者に寄り添い信頼関係を深め、充実した子育て支援を展開しています
	内容	保育園・幼稚園の機能に応じ急な残業等での延長保育の利用、必要に応じた預かり保育に対応し、補食や夕食を提供しています。おむつは家庭からの持参、サブスク(手ぶら登園)の利用を選べるようにしています。年2回の保護者交流会では成長の見通しや職員の関わり、子どもの育ちを伝え、保護者間の交流を深め、子どもの発達や育児について共通認識を持てるようにしています。学習発表会では子どもが保護者に向けて感謝の手紙を書き朗読することで成長を実感してもらいます。利用者調査の各設問の満足度も高く、総合的満足度は100%でした。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	「職務分担表」を作成し、職員と共有する事が望まれます
	内容	園が目指す【保育目標】①子どもの可能性を引き出し伸ばし育てる②人間としての基本を身につける③転んだら自分で起き上がる、等を「しおり」に明示しています。また、「発展計画書」に、園長の保育に懸る思いや「こっこるの基本方針」(最重要項目①:安全120%) (最重要項目②:初心(共通認識・関わり))等について明記しています。ただ、「園長」「主任」を含む各職種に関する「役割」「職務内容」等を明記した「職務分担表」の様なものがないことが確認出来ませんでした。早期に作成され、職員とも共有される事が望まれます。
2	タイトル	園の運営方針等を明記した「事業計画書」の策定が望まれます
	内容	「中・長期計画書」を策定すると共に、年度毎に「発展計画書」を策定しています。「発展計画書」では、職員がどのような姿勢・考えで日常の保育に向かうのかをとて丁寧に説明しています。ただ、「行事」「防災計画」「食事」「施設管理」等の園の運営方法を説明する「事業計画」に関する項目が未記載となっていました。また、「事業報告書」が策定されていますが、「発展計画書」に対する振り返り内容ではありませんでした。園の運営方針を明記した「事業計画書」の策定と、それに対応した「事業報告書」の策定が望まれます。
3	タイトル	園が目指す事の実現を阻害する恐れのあるリスクの優先順位付けが課題となっています
	内容	災害対策の一環として、対応マニュアルを作成すると共に、地震や火災を想定した避難訓練を毎月実施しています。子どもへの安定的な保育体制を確保する為に、「道路への飛び出し」「大雨による水害」「火災」「感染症」「不審者」を優先課題として様々な取り組みを行っています。ただ、これらの事柄を優先課題としていますが、それ以外のリスクに対する優先順位付けが行われていません。園の経営を阻害する恐れのある様々なリスクを洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについての優先順位を付けて職員にも周知することが望まれます。